

令和6年度 大阪府立摂津支援学校 第2回 学校運営協議会 実施報告書

1. 日 時 令和6年9月27日（金） 10:00～12:00
2. 場 所 本校 会議室（中高等部棟2階）
3. 出席者 **〈学校協議会委員〉**
荒木 寛巳（森ノ宮医療大学教授）大矢 優子（摂津市教育委員会 教育委員）
松元 広美（(株)ダイキンサンライズ摂津 総務課長）
佐藤 裕子（茨木・摂津障害者就業・生活支援センター所長）
林 義平（摂津市鳥飼上自治会 会長） 久保田 夏美（本校保護者）
〈摂津支援学校〉
校長（村上） 教頭（和田）（竹内） 事務長（川野） 首席（岡村・三牧・坂部）
首席兼教務部長（日高） 部主事（新地・沖・眞壁）
〈傍聴者〉 2名

4. 年間テーマ及び協議事項

「子どもたちの自己肯定感を高める教育をめざして」

- 主な内容 ①学校経営計画の進捗状況について ②学校教育自己診断について
③授業力向上5か年計画について ④質疑応答

5. 説明、質問、協議内容等

(1) はじめに [進行：三牧] [記録：岡村]

- ・配付資料確認
- ・校長あいさつ

8月末は台風への対応が必要であった。本校は大きな被害もなく過ごせた。2学期は授業日数も多く、成熟期として様々なアプローチをして欲しいと教員に向けて伝えている。9月初めより公開授業週間を行い、教員が互いにアドバイスをすることで専門性の向上をめざしている。また最後の4日間は地域の学校の先生方にも呼びかけ、地域の支援教育のセンター校として本校の実践をご覧いただいた。10月には中3が愛知方面、高3が東京方面、小6が和歌山方面への修学旅行を実施予定。11月末には学校祭があり、全校での作品展示、中学部・高等部による販売や発表を行う。2学期から3学期に向けて、本日は忌憚のないご意見をいただきたい。

(2) 学校より報告及び協議 [進行：荒木会長] (※質疑応答を併せて記載)

① 学校経営計画の進捗状況について [担当：村上校長]

【 1 安全・安心の教育を進める学校 】

- (1) ①：記載内容に加えて「不適切な指導・介助等に関する自己チェックシート」を実施。自由記述欄の意見をもとに、教員によるグループディスカッションを各学部で実施。
- (1) ②：学校経営推進費について、今年度は府内支援学校では本校を含め2校が選出され、本校では2つの遊具を設置できた。3か年で取り組みを進める。

【 2 「わかる授業」「良い授業」を追求する学校 】

(2) 記載の研修に加えて、夏季休業中に教員による実技研修を実施した。

【 4 組織力の向上 】

(1) 校長サロンを「M's カフェ」と命名のうえ継続して実施し、計20名ほど来室した。

【 5 新しい教育課題・組織課題への対応 】

(3) ②：文科省と府教育庁が連携して進めている。

委員：日本人学校へ行かれた教員はどここの国か。また、外国籍や日本語指導が必要など、海外にルーツのある児童生徒にはどのように対応しているか。

学校：文科省の事業によりタイへ派遣されている。派遣先の学校長の許可があれば、交流を進める予定。外国籍や日本語指導が必要な児童生徒については府教育庁より調査がある。現在は該当する児童生徒はいないが、必要であれば外部人材を活用して通訳や指導などを行う。

委員：摂津市ではベトナムにルーツのある方が多く、ベトナム料理のレストランと学校で連携して、一緒にメニューを考える取り組みなどを行っている。

委員：「いじめ等アンケート」小さなところから芽を摘んでいく取り組みを続けて欲しい。公開授業週間による専門性向上の取り組みはよい。

学校：記載内容に加え夏季休業中に教材展示を行い、本校教員及び地域の先生方にも呼びかけた。

委員：日ごろ虐待が疑われる家庭について、状況が改善されたことはあるか。

学校：校内では通告をためらわないように、また学校だけで抱えて対応せずサポーターを増やしながら関わっていくように指示している。各市としてサポートされたケースでは、学校等関係機関が連携することで少しずつ児童生徒の生活が守られていくことがある。

委員：高等部の職業コースは希望制か。

学校：希望制からスタート。卒業後すぐの就労のみではなく、2～3年ほど様々な経験をしたうえで就労をめざせる生徒も含めて職業コースの対象となるように、検討するように伝えている。

学校：職業コースは基本的には希望を伺い、面談や実習などを重ねながら対応している。

委員：(鳥飼)上地域では地藏盆などで出店がでる。10月17日(木)、18日(金)は藤森神社の秋祭りがある。上地域で提灯を担いで歩き、藤森神社に奉納する。参考までに。

学校：地域情報などのご案内をいただければ周知したい。

委員：日々、子どもたちのことを考えてくださりありがたい。(虐待などに関して)少しでも引っかかることがあればすぐ声を上げて欲しい。一方で、学校からの働きかけで追いつめられる保護者もおられると思う。SNSでは重い障がいのある子どもの保護者の方が様々な思いを綴

られている。さくら連絡網での欠席連絡が定着してきて、電話の必要がなくなり保護者も先生方も負担が減っていると思う。特に登校渋りのある子どもの保護者の方は、毎日の連絡だけでも心がしんどくなる。新しい端末の件で、自分も自宅で仕事をする際にタブレットを使用しているが、やはり持ち運べるのは便利。早く普及して欲しい。

学校：新しい端末の環境を整えるために教員に負担をかけるが、少しずつ進めている。

② 学校教育自己診断について〔担当：坂部〕

さくら連絡網未登録のご家庭には紙面で配付予定。今後は、10月の職員会議にて周知し実施する。第3回の学校運営協議会で報告し、学校HPにも掲載予定。

委員：質問項目が3年実施したことで削除となる理由は何か。

学校：学校運営協議会にてご意見をいただいて実施していた質問項目であるが、質問項目全体を学校経営計画の内容に合わせるように変更する中で、一定期間実施したため削除となった。

委員：今までも児童生徒は家でやっていたか。「わからない」の回答が増えないか。

学校：今までは自分で回答できる児童生徒のみ学校で配付・実施していた。

③ 授業力向上5か年計画について〔担当：日高〕 ※スライド資料を参照しながら説明。

- 授業力向上プロジェクト I～Vの取り組みについて
- I：カリキュラム 府内統一シラバス及び摂津支援学校独自追加様式の活用
- II：教材研修 授業ビデオ交流・教材展示会の実施
- III：授業 授業スタンダード・指導略案の活用
- IV：振り返り 振り返りシートの活用、公開授業週間・授業振り返り週間の実施
- V：評価 個別の指導計画と観点別評価（3観点）

委員：計画的に進められていてよい。（教員同士が）伝え合えるような関係づくりが課題。「わかる授業」については、児童生徒からの評価も必要ではないか。

（3）まとめ

委員：教員の自己満足ではなく、子どもたちにどのような力がついたのであるかが大切。次年度につながるように学校運営協議会としての取り組みを。

学校：摂津支援学校の教職員は児童生徒の成長のために日々、走り続けている。各学部主事がそれぞれの先生のことを気にかけてながら進んでいる。あたたかいご助言をいただき感謝している。

（4）事務局より連絡 省略

【配付資料一覧】

- ① 次第（資料①）
- ② 令和6年度 学校経営計画（資料②）
- ③ 学校教育自己診断について（資料③－1～3）
- ④ 授業力向上5か年計画（資料④）